

# 埼 葛 退 職 校 長 会 会 報

第 50 号

平成28年12月発行

発行責任者  
山 根 和 夫

## 魅力ある退職校長会に

埼玉退職校長会

副会長 落 合 三 郎

本年度定期総会において、推挙されました副会長の落合三郎です。私は、定年退職の年にこの会に入会しましたが、その後一三年間は常勤の職業に携わり、その間は会費納入会員に過ぎませんでした。今回はその間の罪滅ぼしの意味を込め副会長として務めさせていただきますと思います。

さて、本会は来年で結成五〇周年になります。その時々先輩各位が、埼玉地区教育の振興への支援、会員相互の親睦と福祉の増進等に努められ成果を挙げ、現在の埼玉退職校長会に成長しました。平成二九年度にその間の成果をまとめ、「埼玉退職校長会結成五

〇周年特別号」として、記念会報を発行することになり、既に編集委員会が組織され、取り組みが始まりました。一市町の会長さんをはじめ編集委員の皆さまには大変なご尽力をいただきことになりましたが、よろしくご協力の程お願いいたします。

ところで、広報部編集の「埼玉ニュースレター第五号」によると退職校長会の加入率が下がっているとのこと。昨年度退職した校長五三名中三一名しか埼玉退職校長会に加入していません。未加入者にはそれぞれ都合があることは思います。退職後「人生の秋」を迎えられる校長先生方には、この会の組織を通して、持てる余力を先輩校長先生方の支援に当たられ、退職後の自分自身の「人生の秋」を明るく楽しいものにして欲しいものです。

また、現会員は、この会の魅力ある事業内容等を訴え、退職される校長先生方が、喜んで入会したくなるような働きかけをしていき

### 特 集

埼玉地区現職・退職校長教育推進協議会  
班活動状況

たいものです。

結びに、これからは、本会の所期の目標達成のため、山根会長さんのご指導のもと、執行部の一員として努力して参る所存です。

### 内から学ぶ

埼玉退職校長会

前副会長 小 澤 嘉 一

今年度の総会にて、一期二年ではありましたが副会長の役目を退任させていただきました。

役員・理事・会員の皆様のご指導、ご支援、ご協力のお陰をもちまして無事この役目を果たすことができましたことに深く感謝申し上げます。

当初は浅学非才の身でその上高年齢でありますので小生にこの任が務まるかと不安でありました。がそこで古語に「子曰く、三人行けば必ず我が師有り、其の善なる者

を択びて之に従い、其の不善なる者は之を改む。」との語を思い出しました。一人ではなく他の役員の皆様の活動の姿を「師」と見て活動すれば何とか務まるのではないかと心に決め、過ごさせていたいただきました。

在任中特に勉強になった事は、会長をはじめ、幹事の人達の仕事専門部の人達の活動の熱心な姿には驚くばかりでした。会長の指示のもとに、運営を推進する中で綿密詳細な計画と実践、謙虚に反省する態度、深く先見する姿等、休む隙の無い程の心配りは私の仕事を推進する上での師でありました。

役員の一員として仕事を一緒にしてみても見えない部分が見つかりました。私にとりましては貴重な経験でありました。本会も組織が大きくなると事務局の仕事は益々細やかな配慮と活動が必要になって参ります。

この様な事を会員の皆様ひとり一人がご理解していただき活動に尚一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

私は今後の生活に「周囲に師有り」の経験を生かし歩んでいきたいと思っております。

結びに本会の発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

# 「彩の国教育の日」協賛 埼葛地区現職・退職校長教育推進協議会

## 一 概 要 報 告

期 日 平成二八年二月一九日(土)  
会 場 久喜市三高サロ  
参加者 現職・退職校長 一三三名  
来賓・各市町P連会長 一三名

### 司 会

小島廣司事務局員  
中三川勉小学校長会幹事  
開会のことば  
落合三郎副会長

○山根和夫会長が本協議会は現職・退職校長並びにPTAとの連携を作り出すという意義があること、更に、来賓・参会者や各担当への感謝の言葉と教育の諸課題について述べた。

○増田芳彦埼葛小学校長会長・松崎直臣埼葛中学校長会長がそれぞれ教育の現状や校長会の取り組みについて話をした。

講 話 「東部教育事務所管内の教育の現状と課題」  
鎌田亨東部教育事務所長が県教育行政施策や教育の諸課題について述べた。

研究発表 (別掲)

### 指導講評

内田雅寛埼玉県退職校長会幹事が、次のように述べた。

小学校の部―市全体で取り組んだ一〇年間の実践をふまえ、学力向上のための学習の流れ(八潮スタンダード)を市内小中学校で共通化を図った実践は注目に値する。中学校の部―隣接している平野小中学校(文科省特例校指定)の工夫された実践、とりわけ「架け橋教科」は今後の小中学校一貫教育に大きく裨益するものと考える。退職校長の部―福原先生の長年の音楽活動(「菁莪囃子会」)「オカリナデユオ・ばればれ」等の実践は敬服に値する。「生涯学習」は「生涯学習」である考えには感銘を受けた。またオカリナの演奏はすばらしいものであった。

### 来賓挨拶

秋葉清一郎白岡市副市長・長島秀夫白岡市教育委員会教育長・西条孝埼葛地区PTA連絡協議会会長・和田玲子白岡市PTA連絡協議会会長より温かい御祝辞をいただいた。

閉会のことば  
伊藤美由紀小学校長会副会長

## 二 研 究 発 表

学力の向上をめざして

学びを結ぶ 次のステージへ

八潮市立八幡小学校

校長 柳田 進也

八潮市立大原小学校

校長 山口 徳明

「基礎学力の定着」「不登校児童生徒の減少」「非行問題行動の減少」をめざして始めた八潮市の小中一貫教育は、昨年十年を迎えました。この十年間の取り組みにより、①小中学校ともに、基礎学力の定着に一定の成果が見られた。②不登校児童生徒が減少した。③非行問題行動が大幅に減少した。と多くの成果が得られました。しかし、学力の向上は、本市の大きな課題となつています。次のステージに上がる初年度の本年は、学力の向上に重点をおいた取り組みを進めています。

一 八潮スタンダードの実践

各教科の系統性を見直し、小中学校の指導法の共有化を図りました。導入時間の短縮、児童生徒が考える時間の確保、周りの児童生徒と比較検討する時間の確保、適応問題を解く時間の確保等のため、基礎的な授業展開案である「八潮

スタンダード」を本年度より市内全小中学校で活用を始めました。授業の流れを「つかむ・見通す↓考える↓深める↓まとめる」とし、全ての授業で行うため、全教室に掲示し、教師・児童生徒の共通理解のもと授業を行っています。

二 八潮市教育委員会との連携  
学力向上に向けた、教育委員会と連携した取り組みを紹介します。①基礎学力の向上を目的として、本市独自の問題集「八潮Basic」を作成し活用しています。②児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある生活・学習態度を身につけるための目標として、「学習ガイド」を作成し活用しています。③教員に指導力向上を視点とした指導を行い、学校全体の学力向上をめざす目的で、退職された校長先生のご支援をいただき「学力向上指導員」として配置されています。

考える時間・学び合う時間・習熟を図る時間を十分に確保した授業を実践し、

山口徳明校長 柳田進也校長

学力向上をめざした小中一貫教育を推進していきます。

「平野の教育環境を生かした小中一貫教育の創造」～小中のつながりを重視した指導の工夫～

蓮田市立平野中学校

校長 関根 隆之

一 はじめに

本校と平

野小学校は、市内で唯一の隣接型で一小から一中へ進

学するという環境を持つ。これを生かし小中九年間の学びの系統性と育ちの連続性を重視し「つなぐ」をキーワードに小中一貫教育の研究を進め、学力向上や生活習慣等の育成、中一ギャップの解消、教職員の指導力向上を目指している。

二 本校の概要

本校は、昭和二二年四月に開校し、今年度七〇年目を迎えた。生徒数一四八人、学級数七学級の小規模校である。平成二六年度から三年間、文部科学省の教育課程特例校の指定を受けている。

三 研究実践の主な概要

◎学力向上研究部の取組み

関根隆之校長

◆算数・数学領域別系統表の作成と活用◆小六算数での中学校教員の乗入れ授業と「算数ノート」の活用◆小一からの外国語活動(低学年年間一〇時間、中学校年間三五時間、高学年年間三五時間)

◆高学年外国語活動での中学校教員の授業(毎週)◆小六外国語活動での文字指導等

◎交流研究部の取組み

◆新設領域「架け橋科」の小六・中一の合同学習◆小五総合と中二

特活の合同学習◆小学校運動会準備での中学生ボランティア◆小学校サマースクールでの中学生丸付けボランティア◆中学校教員の小学校での着衣泳法指導◆小学生の中学校体育祭への参加等

◎生徒指導研究部の取組み

◆「九年間の生活習慣つながり一覧表」の作成◆清掃指導の小中共通化◆小中合同「あいさつ運動」◆特別支援学級の合同授業◆小中

でノーチャイム実施等

四 おわりに

各実践から、生徒の中学校進学



「私の生涯楽習」

白岡市退職校長会

福原 良男

幼いころ

から「音の出るもの」が大好きだった私は、これまで多くの楽器に接し

福原良男先生

楽しんで来た。ここではささやかながら現在も継続しているいくつかの「楽習」活動や交流の様子をご紹介します。

一つ目は、中学校のクラブ活動から発展した『善哉囃子会』です。大人も子供も自由に参加できる社会教育団体である。地元に伝わるお囃子をはじめ、秩父屋台囃子、獅子舞、ひよっこ・おかめ踊り等さまざまな民俗芸能を学び楽しみ、地域の祭りやイベントで披露することにより、地域の方々との交流を深めることができた。

二つ目は、十年ほど前から妻と始めた『オカリナデュオ・ぼれぼれ』です。誰もが気軽に音楽に触れる場を目指してはびすdeコンサートを毎月開催している。今年の二月までに延べ七七七団体、約三千人の参加をいただき、演奏技術の向上や参加者相互の交流、生き甲斐の創出等に大きな役割を果たすことができた。

三つ目は、同時期に始めた『みんなで歌う会』は、集まった人たちが歌集(目次)の中からそれぞれ歌いたい曲をリクエストし、進行役のリードのもとに参加者全員で歌うというグループです。多くの方の支持を頂き、今も各地で開催している。カラオケとは異なり、皆で声を出すことで歌唱の巧拙を気にせずたくさんの曲を歌うことができる」と好評である。

私たちの主催する歌う会では、進行役を妻が、キーボード伴奏を私が務めている。歌へのニーズはどの地域でも非常に高いものがあり、『みんなで歌う会』を単独で依頼されることも多い。

現在、私たち(オカリナデュオ・ぼれぼれ)が毎月定期的に行っている活動は、①福祉施設への定期訪問(2件)、②ぼれぼれ森のコンサート(宮代町・新しい村)、③みんなで歌う会in鷺宮(鷺宮東コミセン)等である。これらの他、地域のサロンをはじめ近隣の福祉施設や各種イベントでのオカリナ演奏や『みんなで歌う会』を依頼される機会も多い。

「楽習」を通してたくさんの方々と交流できることは大きな喜びである。また現在、SNSが人と人を繋ぐ強力な武器となり得ることも実践を通して学んでいる。今後も自分なりの「楽習」を模索していきたい。

## 班活動の報告

### 春日部市退職校長会

岩谷 征昭

平成二八年度は役員の改選があり、多くの交替があつて新しいスタートで出発した。

新会員と異動者を含め六名が加わり、会員数七二名で始動した。これまでの活動概略と年度末までの予定を紹介します。

○四月一六日 理事会で総会原案を検討

○五月七日 総会 二三名出席

○八月二〇日 賀寿祝いの会、会則に基づき実施。賀寿を受けられる該当者は七名。

会員二六名参加

○十一月八日 会員研修会

本年度は世界遺産の「富岡製糸場」「渋沢栄一記念館」を見学し研修を深めた。

この事業は例年参加者が少なく、いろいろ方策を考へてきた。今回は事前の計画を十分練つて実施。参加者が一六名に増加し楽しい研修ができた。

○十一月九日 現職・退職校長研究協議会に七名参加。年々関心の高まりを感じる。

○一二月一〇日 懇親会・忘年会 恒例の事業だがこれも年々増加傾向にある。

○三月一〇日 役員会

今回は役員の改選時期を県・埼玉と連動させるかどうかを検討課題

本年度これまで二名の会員逝去者があつた。新年度の新会員勧誘は、春日部班の活動について理解を深めてもらうよう準備をしたい。

### 越谷市退職校長会

浜野 紀生

【越谷市退職校長会総会等】

四月一五日に役員会が開催され、五月七日の総会において、新役員が決定した。

【埼玉県退職校長会定期総会】

二八年度の総会は、越谷市が会場ということ、卯木実施委員長のもと、昨年度から着々と準備してきた。五月二〇日、県会長様以下県本部役員各位の出席のもと、

各担当ごとに最終の確認を行った。県の指導はもとより、埼玉管内各担当部署の綿密な準備により、準備万端整い、六月三日の総会当日を迎えられ、且つ成功裡に総会を終了することが出来た。

越谷市退職校長会として、ほつとすると共に、関係各位に、深く深く感謝致します。誠に有難う御座いました。

【学校支援とその協力体制】

七月末、越谷市教育委員会幹部と越谷市立小・中学校長会正副会長と退職校長会正副会長幹事との教育懇談会及び懇親会を開催した。議題は学校支援の在り方についての相互理解と協力体制を整えることが、主たる内容であつた。なお、本年度の学校支援の実績は、一月末現在で、延べ人数二〇人程度になる見込みである。

【越谷市退職校長会研修会等】

一月一日に研修会を実施。我々の健康維持の為の身体活動の方法について学んだ。二月一七日の正副会長・幹事会にて、次年度の骨子を作成し、三月の監査会・役員会にて、次年度に備える。

【埼玉五〇周年記念誌原稿準備】

### 久喜市退職校長会

鈴木秀三郎

本会は、今年度六名の新会員を迎え総勢一三五名です。本会が継続してきた特徴ある二つの活動と、本年から始めた、久喜市退職校長会のホームページについて報告いたします。

その一つは、市の四地区（久喜・菖蒲・鷺宮・栗橋）合同の事業活動である「研修・親睦旅行」です。今年も一〇月五日に実施できました。つくば市・筑波研究学園都市を訪れました。素晴らしいところを見学し、研修と親睦を実感しました。

その二は、現職、退職校長会の合同の「久喜市退職校長会文化活動発表会・第七回」です。平成二九年二月二四日〜二七日までの四日間久喜市中央公民館に作品展示がされます。今年度は、遺作の出品もあります。三人の方々の、日本画・洋画・押し花絵・書・彫刻・陶芸・写真・短歌・俳句等の作品が発表されます。例年素晴らしい作品で地域の人々にも好評です。

会の活動を会員の方にも知ってもらうためにホームページを立ちあげました。多くの方からアクセスをいただいています。

Jindoという無料のソフトを使っています。

「久喜市退職校長会」又は <http://taikouty.jindo.com/> をパソコンの検索に入れてください。

その他、グランドゴルフや地域の活動で顔を合わせたる機会を多くして楽しんでいきます。

八潮市退職校長会

松田 温昭

平成二八年五月八日に年度総会を開催しました。今年度は新会員一名を加え二八名の会員数でスタートしました。また、会活動の充実を図るため幹事を二名増員し、三名で企画運営に当たることとしました。その後、八潮市教育長提供の小中一貫教育リーフレット「はばたきプラン」を参照し、学校支援の手がかりを模索して各自が活動することを確認しました。

一方、地域の児童・生徒の学習支援活動として月二回、年間で実施している「フリーラーニング」みんなの学習広場」があります。この事業は、市内の退職教員と本会が協働している事業で、児童・生徒の個別の学習希望に応じた教科や内容を支援するもので一対一の支援と指導が出来るので参加者の変容が支援者のやりがいにもなっています。

また、夏季限定のやしお生涯学習館事業「夏休み宿題大作戦」への支援活動も実施しました。この事業は、児童生徒の夏期休業の自由研究や工作、教科の宿題等を学習したいという願いに対応するため、これも市内の退職教員と本会がやしお生涯学習館と協働して

いるものです。

今後の課題としては、会員が個別に活動している地域活動と本会事業との連携・協力を取りあげることも必要と考えています。

蓮田市退職校長会

堀内 善仁

今年度も行事に会員がたくさん参加してもらおうように工夫してまいりました。

一つ目に、例年七月に実施している健康教室です。今年で一五回目になります。会員のみなさんの一番の関心はなんといっても健康についてです。それぞれが抱えている悩みは同じではありませんが、今回は元気なうちに「認知症について」正しく理解していくことが大切だと考えました。誰もが願うことは認知症にならないで健康寿命を伸ばしていくことだと思えます。「相談窓口、病院、家族」等すぐ困ることを具体的に教えていただきました。参加者は一七名でなりましたが、認知症をよく知る機会となりました。

二つ目は、研修旅行です。一月一九日に「八ヶ岳の自然と文化を訪ねる旅」に行つて参りました。今回は事前に都合の良い日程をアンケートで集約し、また会員に前

もって「しおり」を配布しました。

会員からは「事前資料は、旅をワクワクさせる効果があつてすばらしい」と好評でした。参加者は二三名で近年にない高い参加率でした。平山郁夫シルクロード美術館を訪ねた後、高原のホテルで天空の昼食を囲みました。清泉寮でおいしいソフトクリームを食べ帰路につきました。あいにく八ヶ岳の山頂は雲に隠れていましたが、紅葉と高原の展望を楽しんできました。

三つ目は、隣の白岡市とゴルフの交流ができたことです。これからさらに親睦を深めたいものです。

三郷市退職校長会

逆井 洋一

- 一 定期総会 四月一六日(土)
- ・平成二七年度事業報告
- ・ "
- ・ 会計・監査報告
- ・ 平成二八年度役員選出
- ・ " 事業計画・予算案
- ・ 総会終了後、懇親会 出席者 二三名
- 二 市町研修(三郷市担当)
- ・ 六月二三日(木)実施
- ・ 研修テーマ

「三郷放水路と三郷排水機場の意義と役割」

・ 内容

①放水路・排水機場見学

②大西実所長の講話

・萩原征而福利厚生部長が懇切なご指導に感謝を述べた。

・参加者 四八名

三 夏季親睦会

・七月二九日(金)

・暑気払いと懇親

・参加者 一五名

四 秋の現地散策研修

・一〇月二九日(土)午前

・方面

浅草・墨田公園周辺

・コース

○東武浅草駅↓吾妻橋↓

墨田公園↓牛嶋神社↓

すみだ郷土文化資料館↓

三囲神社↓長命寺↓

言問団子↓墨堤の桜↓

桜橋↓昼食↓解散

・ガイド 代田代次会員

・参加者 一四名

・秋の半日、浅草界隈を堪能した。

五 学校訪問

・退職校長会入会勧誘

・今後、早期に実施予定

白岡市退職校長会

辻 勝明

白岡市退職校長会は、本年度三名の新会員を迎えて二四名です。

四月当初の役員会では、総会の準備や活動内容、役割分担、広報の配布計画の確認をしました。

五月の定期総会では、新会員の紹介や、米寿・喜寿を迎えた会員へ花束を贈呈し、祝いました。引き続き続いての現職校長会との合同懇親会では、教育長より市の現状が話され、新たに着任された校長と共になごやかな交流が行われました。

又、今年度活動の中心は、一月に開催された埼葛地区現職・退職校長推進協議会の運営担当市としての取り組みでした。事務局を中心に、前年までの様子を参考に、会場は久喜市の三高サロンを昨年五月に予約、発表者の決定や現職校長会との連絡調整を進めてきました。市長への表敬訪問や市の資料の手配などは長島教育長が窓口になってくれました。

当日は、あいにくの雨天でしたが、午前中の協議会に続いて午後懇親にも大勢が出席され、なごやかに終了でき、当初の目的は達成されたものと思えます。

埼葛退職校長会の事務局、現職校長会、行政、PTA等、各々の立場から協力的に連携しあって進められた事だと思ひ深く感謝しております。

白岡市退職校長会は、二月に新年を迎えての新春懇親会を予定しております。次年度の準備や会員の絆を深めるための会です。無理なく参加できる会にしたいです。

#### 宮代町退職校長会

長濱 秀男

本会の会員数三七名は本年度も昨年までとほぼ同様の事業を推進しています。その過程で会員の生き甲斐と、各々個人の達成感や成就感が得られるよう事業の展開に腐心しています。

本年五年目を迎えた学校支援事業ですが、会員一一名の登録があり、各々が学校現場に赴いて活動を展開しています。その主な内容は、一、施設・設備のペンキ塗りと体育授業や学校行事の補助員。二、栽培体験活動時の補助支援。三、学校経営上、教職員の教育活動の問題点について、Q & A方式での支援。四、女性教職員に対する悩み相談等。以上の内容を一覧表にした冊子を作成し、この冊子を町内の小中学校に配布して、支援を希望した学校に、会員を派遣しています。支援の受付は支援者が行い、日程を調整しながら進めています。

次に、会員研修旅行について、

その概要を報告します。今年の研修テーマは、「歴史・文化・民俗に触れる」に、これまでの研修と趣を異にして実施しました。その一は、大田原市なす風土記の丘湯津上資料館で、学芸員による那須国造碑と下侍塚古墳の見学。その二は、那須烏山の山上げ会館での「山上げ祭り」の展示見学と映像観賞及び職員による説明研修でした。

参加した一四名の会員は満足した様子で、研修の更なる充実を期して行きたいと考えております。

#### 幸手市退職校長会

中村 淳男

本市では、新会員三名を加え、五五名(市内四六名、市外九名)の会員で現在活動しています。

今年度も主な事業の一つとして、健康づくりのためのグラウンドゴルフ大会を実施しました。毎週サークル活動としてグラウンドゴルフを行っている「木曜会」の支援を得て、和気あいあいの中にも、好スコアが飛び出すなどして、大変盛り上がりました。また、大会後の懇親会では、プレーを振り返る一人一人のユーモア溢れる弁を聞くこともでき、大いに親睦を深めることができました。

また、今年度は新たな事業として、九月に、そば打ち体験研修を実施しました。指導員とそば打ち経験のある会員二名によるデモ打ちの手本を見、上手なそば打ちのこつを始めに確認しました。その後、各テーブルに会員が二人一組となり、指導員の方から「混ぜ、水回し、こね、延し、畳み、切り、茹で・洗い」の順に丁寧な手ほどきを受け、実際にそば打ちを体験しました。参加者は自分の打ったそばの味を十分堪能できたようで、笑顔が溢れていました。

一月には、前半に会員による研修、後半に懇親会である忘年会を実施しました。今年度の研修は、「幸手の地口く祭りの夜を彩る洒落ことば」と題して、江戸時代にはじまり、今も幸手に残っている地口絵に関する内容でした。今後、より多くの会員が参加してみたいと思うような事業企画に一層努めていきたいと思ひます。

#### 杉戸町退職校長会

仁部 前明

会員相互の親睦と福祉の増進を図るべく役員との連携のもとに活動をしている。今年度の取り組み状況をのべたい。

。県定期総会が越谷を会場にして

開催されたため総会を、五月七日(土)に実施した。議事は順調に承認され、その後新会員の歓迎をこめての懇親会が、和氣藹々の中で実施されました。新会員の方の感想を伺いたいところです。

今年度は、三者(現職校長会・教委・当会)の懇親会開催年度にあたるため、八月二五日に役員会を開催し、一月月でお願いしましたが、多忙な為に一月一〇日(土)の実施になりました。この会は、二回目になります、話題提供をそれぞれから一名の方に発表してきました。

米寿を迎えた鹿内みあき先生。当会では、はじめての米寿者で誠におめでたい限りです。七月二十九日、代表者三名で先生宅を訪問し、全国、県退職校長会からの米寿祝、当会から祝花を贈呈しました。先生の元気なお姿と豊かな暮らし方を拝聴し、楽しい一時となりました。高齢者叙勲も得られました。

総会準備の役員会予定  
定期総会を迎えるに当って、役員改選の申し出もある中で時間も要するものと考えられるので早めの準備にかかりたい。  
以上が、当会の主な活動になります。

**松伏町退職校長会**

福井 和義

松伏町の退職校長会は、四月一日に総会・懇親会を行い、事業計画、情報交換を行いました。

また、七月三日に現職・退職校長研修会・懇親会を行いました。そこでは、各校の生徒指導等の課題を話し合いました。

また、各会員は、自分の目標をもって次のようにさまざまな分野で活躍しています。

例えば、

- ① 町民のさまざまな生活で、人権を守る人権擁護員。
- ② 総合型スポーツクラブの役員で、健康ヨガ・エンジヨイダンス・ケンコー吹矢・フラダンスサークル等の指導者。
- ③ 古利根桜並木の管理及び清掃。桜まつりを実施する松伏町古利根川桜並木保存会の会員。
- ④ 町民の健康維持や気分のリフレッシュのために、散歩コースの環境を整えるボランティア。
- ⑤ 江戸川クリーン大作戦の河川美化活動として、河川敷のごみ一斉清掃をするボランティア。
- ⑥ 町主催の古利根川クリーン作戦の河川美化活動にボランティアとして参加。
- ⑦ 豊富な教職経験を生かして、

学力向上、生徒指導、不登校児童生徒の教育相談等。

**吉川市退職校長会**

鈴木 博

本会は今年度、新会員一名を迎え、二九名の会員でスタートしました。

主な事業の一つが、青少年育成吉川市民会議との連携で、一〇月のクリーン作戦、一月の吉川市青少年健全育成大会の活動です。

本会は青少年市民会議の正会員として加入しています。クリーン作戦では、中・高校生、市内ボランティア団体、民間企業の社員等と共に汗を流しました。健全育成大会では、市民会議の他のメンバーと企画運営にあたりました。小中高生による「青年の主張」、その後の意見交換があり、司会、受付も生徒が行いました。

もうひとつの事業が、現職・退職校長会の親睦会です。

忘年会を兼ねた親睦会は今年で三年目となりました。今年度は新たに地元の高等学校の校長先生の参加をいただき、小中の現職校長会・退職校長会・吉川美南高校長・教育委員会が一堂に会することができました。小・中・高・教委の連携が整いました。

地元高校と現職校長会との連携は、美南高校の前身である吉川高校時代に遡ります。当時から高校の体育祭に出席したり、高校のグラウンドで小・中・高校の管理職から教職員が、もちろん市教委も運動に汗を流し、終了後に親睦を深めていたという土台があったからなのでしょう。

役員会は年二回開催し、会の課題解決の方策を探ったり、行事の工夫や発展に知恵を絞っています。

**現職・退職校長の**

**教育懇談会**

## 部 会 報 告

## 「埼葛研修」実施報告

福利厚生部長 萩原 征而

一 実施日 平成二八年一〇月二

七日(木) 本年度から「埼葛

研修」と改称しての実施

二 研修テーマ 「小江戸佐原の

町並みと千葉県立房総のむら」

を訪ねて

三 主な研修箇所と内容

① 水郷佐原山車会館 ビデオシ

アターで祭りの様子等を視聴

した後、国の重要無形文化財

に指定された絢爛豪華な山車

を見学しながら館長さんの説

明をいただきました。

② 佐原の町並みの散歩と見学

三菱館・副新呉服店・中村屋

商店・正文堂等、江戸時代に

隆盛を極めた当時を彷彿させ

る古い商家が立ち並んだ歴史

的景観の見学。特に国指定の

伊能忠敬記念館では、その偉

業に改めて感嘆させられまし

た。

③ 千葉県立房総のむら 風土記

の丘資料館・商家の街並み・

武家屋敷・旧平野家住宅等、

房総の伝統的な生活様式や技

術を各自見学。全体の記念写

## 四

まとめ

真を撮影しました。

見学時間が足りなかった反省  
はありますが予定通り終了する  
ことが出来ました。貴重な解説  
をいただいた小熊氏とご参加の  
皆様のご協力に感謝申し上げます。

